

八千代市財政運営の 基本的計画の取組状況

持続可能な財政運営を行うため、平成28年2月に八千代市財政運営の基本的計画を定めました。平成28年度から令和7年度までの中長期財政収支見通しをもとに、健全な財政運営の推進に向けた財政目標値を設定しています。

平成30年度決算を終えての現状と、令和7年度末の財政目標値は下の表のとおりです。中長期財政収支見通しは、年2回見直しをし、市民への公表を行うとともに、予算編成の際の基礎資料などとして活用しています。

〔財政運営の基本的計画における取組状況〕

財政指標	令和7年度末 目標値	平成30年度 決算値	平成26年度 決算値
経常 収支比率	90.0%以下	97.1%	94.9%
公債費 負担比率	14.0%以下	14.5%	14.8%
財政調整 基金残高	標準財政規模の 10.0%以上 (約33億円)	6.4% (約21億円)	3.6%
市債残高	500億円以下	約520億円	約570億円

特別会計

市には、4つの特別会計があります。特別会計は、保険料や使用料などの特定の収入がある事業ごとに会計を設け、一般会計と分けて経理することで、収支をはっきりさせているものです。

区分	歳入 (対前年度比)	歳出 (対前年度比)
(1)国民健康 保険事業	179億6,227万円 (14.4%減)	176億 573万円 (12.9%減)
(2)介護保険 事業	117億2,306万円 (5.3%増)	114億8,219万円 (5.2%増)
(3)墓地事業	5,661万円 (20.7%増)	5,628万円 (20.1%増)
(4)後期高齢者 医療	23億4,060万円 (8.9%増)	22億9,881万円 (8.7%増)
合計	320億8,254万円 (6.5%減)	314億4,301万円 (5.5%減)

市ホームページで資料などを公表しています

決算の概要、年度ごとの予算の概要や編成過程、各種分析資料などを市ホームページで公表しています。
一般・特別会計については、トップページから「市政情報」→「財政・会計」へ、公営企業会計については、トップページから「八千代市上下水道局」→「上水道（または下水道）」へ。

広告

公営企業会計

公営企業会計は、経営に要する費用を料金などの事業収益で賄うもので、水道事業と公共下水道事業が対象となります。内訳は、当該年度の経営活動に伴う収支である収益的収支と、施設の建設や改良などのための収支である資本的収支に分かれます。

水道事業会計

※税込額

区分	収入 (対前年度比)	支出 (対前年度比)
収益的収支	41億6,882万円 (0.5%増)	36億2,820万円 (1.9%増)
資本的収支	14億6,570万円 (22.1%増)	26億6,211万円 (9.0%減)

資本的収入額（翌年度へ繰り越される支出の財源充当額145万円を除く）が資本的支出額に対して不足する額11億9,786万円は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

〔貸借対照表(31年3月31日現在)〕 ※税抜額

資産の部 (対前年度比)		負債の部 (対前年度比)	
固定資産	391億1,643万円 (1.2%増)	固定負債	131億3,944万円 (2.3%増)
流動資産	29億4,274万円 (18.3%増)	流動負債	9億6,931万円 (18.4%増)
		繰延収益	102億2,687万円 (0.2%増)
		負債合計	243億3,562万円 (2.0%増)
		資本の部 (対前年度比)	
		資本金	149億1,252万円 (4.6%増)
		剰余金	28億1,103万円 (6.5%減)
		資本合計	177億2,355万円 (2.7%増)
資産合計	420億5,917万円 (2.3%増)	負債・資本 合計	420億5,917万円 (2.3%増)

〔損益計算書〕 ※税抜額

営業外収益(長期前受金戻入など) 7億4,368万円

【収益の部】 38億9,680万円

営業収益(水道料金など)	31億5,312万円
--------------	------------

【費用の部】 34億7,741万円

営業費用(減価償却費、受水費、委託料、動力費、人件費など)	32億5,390万円
-------------------------------	------------

営業外費用(支払利息など) 2億2,329万円
特別損失(過年度損益修正損) 22万円
純利益 4億1,939万円

公共下水道事業会計

※税込額

区分	収入 (対前年度比)	支出 (対前年度比)
収益的収支	34億8,581万円 (0.2%減)	32億9,446万円 (1.0%減)
資本的収支	15億9,404万円 (41.1%増)	22億4,034万円 (21.5%増)

資本的収入額（翌年度に繰り越される支出の財源充当額1億3,242万円を除く）が資本的支出額に対して不足する額7億7,872万円は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

〔貸借対照表(31年3月31日現在)〕 ※税抜額

資産の部 (対前年度比)		負債の部 (対前年度比)	
固定資産	390億6,707万円 (2.8%増)	固定負債	76億9,282万円 (0.7%増)
流動資産	15億 735万円 (36.2%増)	流動負債	8億 2万円 (3.4%減)
		繰延収益	190億6,955万円 (6.1%増)
		負債合計	275億6,239万円 (4.2%増)
		資本の部 (対前年度比)	
		資本金	120億3,383万円 (2.8%増)
		剰余金	9億7,820万円 (6.4%増)
		資本合計	130億1,203万円 (2.6%増)
資産合計	405億7,442万円 (3.7%増)	負債・資本 合計	405億7,442万円 (3.7%増)

〔損益計算書〕 ※税抜額

営業外収益(長期前受金戻入など) 7億2,103万円

【収益の部】 33億 949万円

営業収益(下水道使用料など)	25億8,846万円
----------------	------------

【費用の部】 31億6,735万円

営業費用(減価償却費、流域下水道維持管理費負担金、委託料、人件費など)	29億4,687万円
-------------------------------------	------------

営業外費用(支払利息など) 1億8,403万円
特別損失(退職給付引当金など) 3,645万円
純利益 1億4,214万円

お問い合わせ

- 一般・特別会計に関すること
財政課 電話(483)1151(代表)へ
- 公営企業会計に関すること
上下水道局経営企画課 電話(483)6572へ

広告